

## 1 研究主題

### 自ら考え、豊かに学び、よりよく生きる生徒の育成

～ 確かな学力の向上をめざして ～

## 2 めざす生徒の姿

課題に対して根拠のある考えを持つことができ、  
それを文章や話し言葉で表出することができる生徒

## 3 研究仮説

### ① 研究仮説 1

活用力向上のための6つの学習活動を授業に効果的に取り入れることで活用力が向上するであろう。

### ② 研究仮説 2

小グループでの学習活動をねらいに即して効果的に実施することによって自己の考えでまとめ表現する力がつくであろう。

### ③ 基礎学力の充実をはかることで、活用力の向上を支えることができるであろう。

## 4 めざす生徒の実現のために

### ① 活用力の向上をはかる

- ・活用力向上のための6つの学習活動の授業への導入またそのための単元計画の再検討（各教科で6つの学習活動を具体化しそれを授業で実践）
- ・グループ学習の導入（思考場面、発表場面の設定、意見の交流による思考の深化）（話しやすい雰囲気、発言しなければならない状況づくり）

### ② 教師の授業力の向上をはかる

- ・校内研修会の実施  
外部講師、授業参観者による助言、事前研修会や指導案検討会の実施  
（明確な課題、発問の工夫、生徒の活躍場面、評価の工夫、生徒の発言記録等）
- ・授業整理会の工夫（視点を明確にした授業観察、ワークショップ型授業整理会の導入）

### ③ 基礎・基本の充実をはかる

- ・SUN3タイムの実施
- ・補充学習の実施（希望者及び指名した生徒に始業前の時間に30分間実施）
- ・各種調査の結果をもとにした学力向上プランの作成及び実施
- ・習熟度別少人数授業を実施し個に応じた指導の実施

### ④ 家庭学習の習慣化をはかる

- ・家庭学習に関する担任からの指導と家庭学習状況調査の実施
- ・家庭学習の手引きの作成（学習方法、生活習慣の再検討のために）

## **5 生徒理解のために**

- ① 全校生徒対象にスクールカウンセラーによる1分間面談の実施
- ② 教育相談の実施（年2回）
- ③ QUテストの実施による人間関係の把握と対応
- ④ 人間関係づくりのためのグループエンカウンターの実施
- ⑤ 生活ノート「あさひ」の記録からの個別指導

## **6 地域や近隣学校との連携**

- ① 近隣小学校や高校に授業研究会への参加の呼びかけや意見交換の実施
- ② 保護士、民生委員の定期的な授業参観
- ③ スクールアドバイザーの定期的な学校視察と助言